

単元名 につぼんのうた みんなのうた(3)

配当時間 2時間

単元の目標 (1) 曲想と旋律など音楽の構造との関わりや、曲想と歌詞の内容との関わりについて理解するとともに、各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて歌う技能を身に付けることができる。

(2) 旋律のもつリズムの反復・変化、強弱、音の重なりを聴き取り、そのよさを感じ取りながら、聴き取ったことと聞き取ったこととの関わりについて考え、曲の特徴にふさわしい表現を工夫しどのように歌うかについて思いや意図をもつことができる。

(3) 歌詞や曲想を生かした表現に興味をもち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組むものとする。

## 標準的な展開例

05070301\_001

【教材名】スキーの歌（歌唱 共通教材）

(P. 48～P. 49)

【準備等】範唱CD，録音機器

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1～2 情景を想像しながら「スキーの歌」（共）を歌う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 範唱を聴いて、学習課題をつかむ。</li> <li>★ 情景を思い浮かべて表情豊かに歌おう <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 範唱を聴いて曲想をつかむ。</li> </ul> </li> <li>○ 詩の内容を話し合う。</li> <li>○ 二部合唱をする <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 聴唱法で主旋律を歌う。</li> <li>・ 上声部を歌う。</li> <li>・ 響きに気を付けて二部合唱をする。</li> </ul> </li> <li>○ 歌詞の表す情景を想像しながら歌う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ それぞれの旋律の動きからそれに合った歌い方を工夫する。 <ol style="list-style-type: none"> <li>1， 2， 4 段目…リズムカルに躍動する感じ</li> <li>3 段目…なめらかに滑る感じ</li> <li>5 段目…力強い感じ</li> </ol> </li> </ul> </li> <li>○ 情景を想像しながら生き生きと歌う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ P. 48の写真を見ながら、スキーの歌のイメージをふくらませる。</li> <li>・ 範唱を聴かせ、弾んだ感じ、なめらかな感じ力強い感じと変化していくことに気付かせる</li> <li>・ 難解な語句について説明をする。</li> <li>・ スキーを滑るスピード感や躍動感，わくわくする気持ちを感じ取らせる。</li> <li>・ 5 段目の主旋律は，矢印の付いている下声部となる。</li> <li>・ 二部に分かれる主旋律の最初の音に気を付けさせる。</li> <li>・ 表現を工夫する前の歌を録音し，表現の工夫を行う時に比較させてもよい。</li> <li>【共通事項】旋律 変化</li> <li>【評】歌詞や曲想を生かした表現に興味をもって合唱に取り組む活動を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</li> <li>【評】曲想と，旋律など音楽の構造や歌詞の内容との関わりを理解して歌う活動を通して「知識」を評価する。</li> <li>・ それぞれのイメージにあった歌い方ができているか，聴いて確かめながら工夫させる。録音を活用してもよいし，聴き役をつくってもよい。</li> <li>・ 力強く歌う部分にアクセントがついていることを確認する。強弱記号同様，アクセントの記号は表現と関連して確認させる。</li> <li>【共通事項】リズム 強弱</li> <li>【評】歌詞の内容や旋律やリズムの変化を捉えて自分たちの思いや意図に合った表現を工夫する活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。</li> <li>・ 録音を活用した場合は，最後に自分たちの歌の聴き比べを行い感想を発表させてもよい。</li> <li>【評】各声部の歌声や全体の響き，伴奏を聴いて歌唱する活動を通して「技能」を評価する</li> </ul>

【 備 考 】